



RIKKYO UNIVERSITY

労働政策審議会職業安定分科会雇用対策基本問題部会

若年者雇用対策

- 本学の事例紹介を中心に -

立教大学

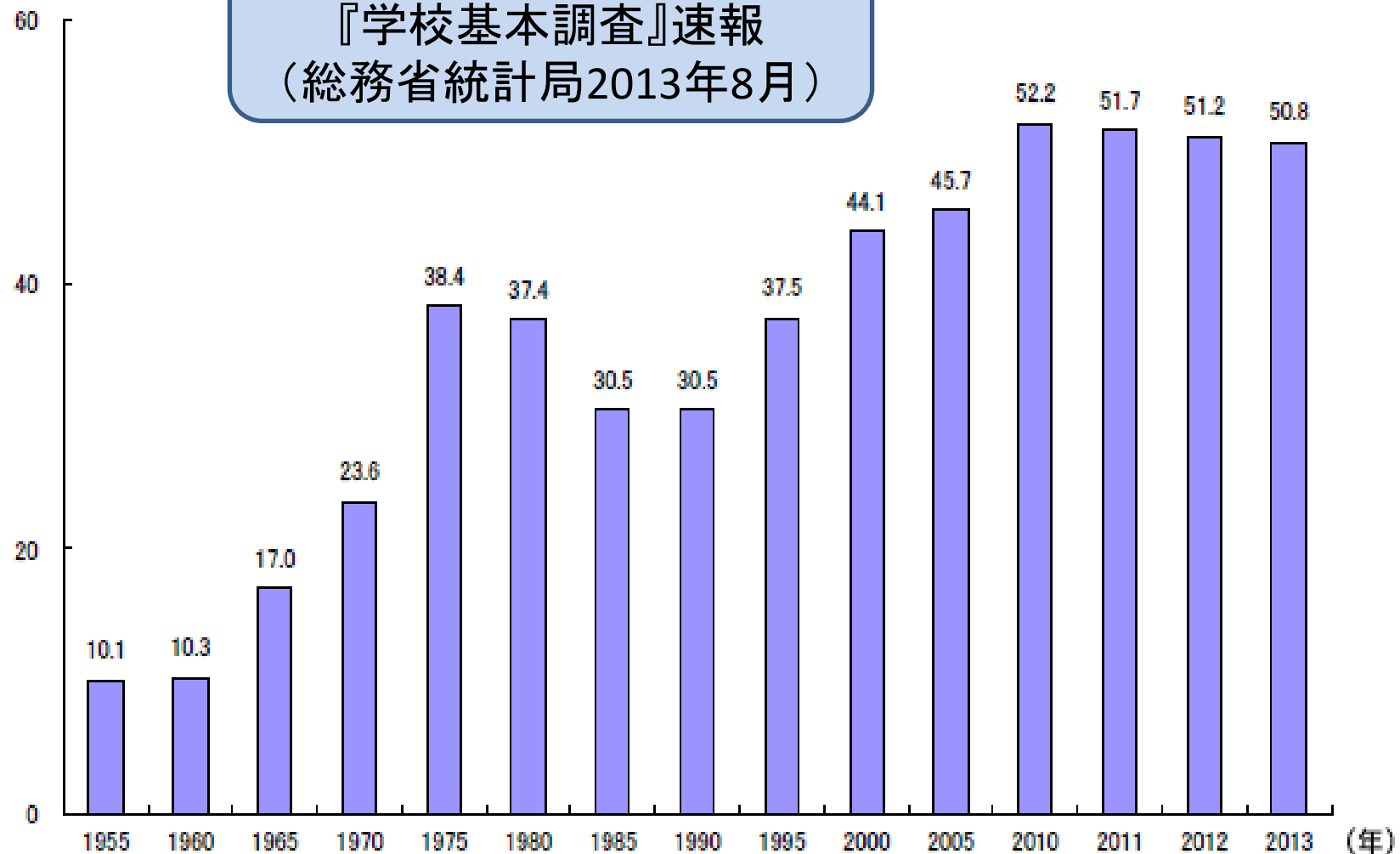
1. 大学を取り巻く状況の変化

- 大学進学率の上昇
- 大学生の質変化
- キャリア教育の義務化
- 大学の教育課程の変容

1. 大学を取り巻く状況の変化

(単位: %)

大学進学率 文部科学省
『学校基本調査』速報
(総務省統計局2013年8月)



1. 大学を取り巻く状況の変化

■ キャリア教育の義務化 2012年4月

雇用情勢の悪化

全入時代の大学生の多様化



「社会的・職業的自立に関する指導等
(キャリアガイダンス)」の義務化

実は大学により実態が異なる

1. 大学を取り巻く状況の変化

■ 大学に対する社会からの期待の変化

求められる「社会人基礎力」

「知識積み上げ型学修」⇒「課題達成型学修」

「Input」偏重 ⇒ 「Output」重視

迫られるグローバル化対応

1. 大学を取り巻く状況の変化

■ 就職支援からキャリア支援へのシフト

ハウツー型就職支援は本質ではない

大学によりキャリア教育の中身はまちまち

自分で将来の進路を決定する力の涵養へ

2. 立教大学の支援の概要

■ 基本的な支援方針

学生が社会的および職業的に自立した個人として自分らしい人生のあり方を追求できるように支援する。

学生が一生を通じて自らの資質を向上させ、教養をもって社会に貢献できる人となるよう支援する。

2. 立教大学の支援の概要

■ 多種多様なキャリア支援

- ◆ 新入生オリエンテーション
- ◆ キャリアデザインガイダンス
- ◆ キャリアデザイン講演会
- ◆ インターンシップ
準備講座、事前・事後研修
- ◆ スタディツアー(企業訪問)
- ◆ 学内OB・OG訪問会
- ◆ 公務員合同説明会
- ◆ 教職合同説明会
- ◆ 留学と就職ガイダンス
- ◆ 仕事発見セミナー
- ◆ 業界研究セミナー

2. 立教大学の支援の概要

■就職支援の3本柱

1 就職ガイダンス ⇒ **就職支援の土台**

当該学年を対象に2段階実施 10月、1月

2 ステップアップ講座 ⇒ **就職支援の中軸**

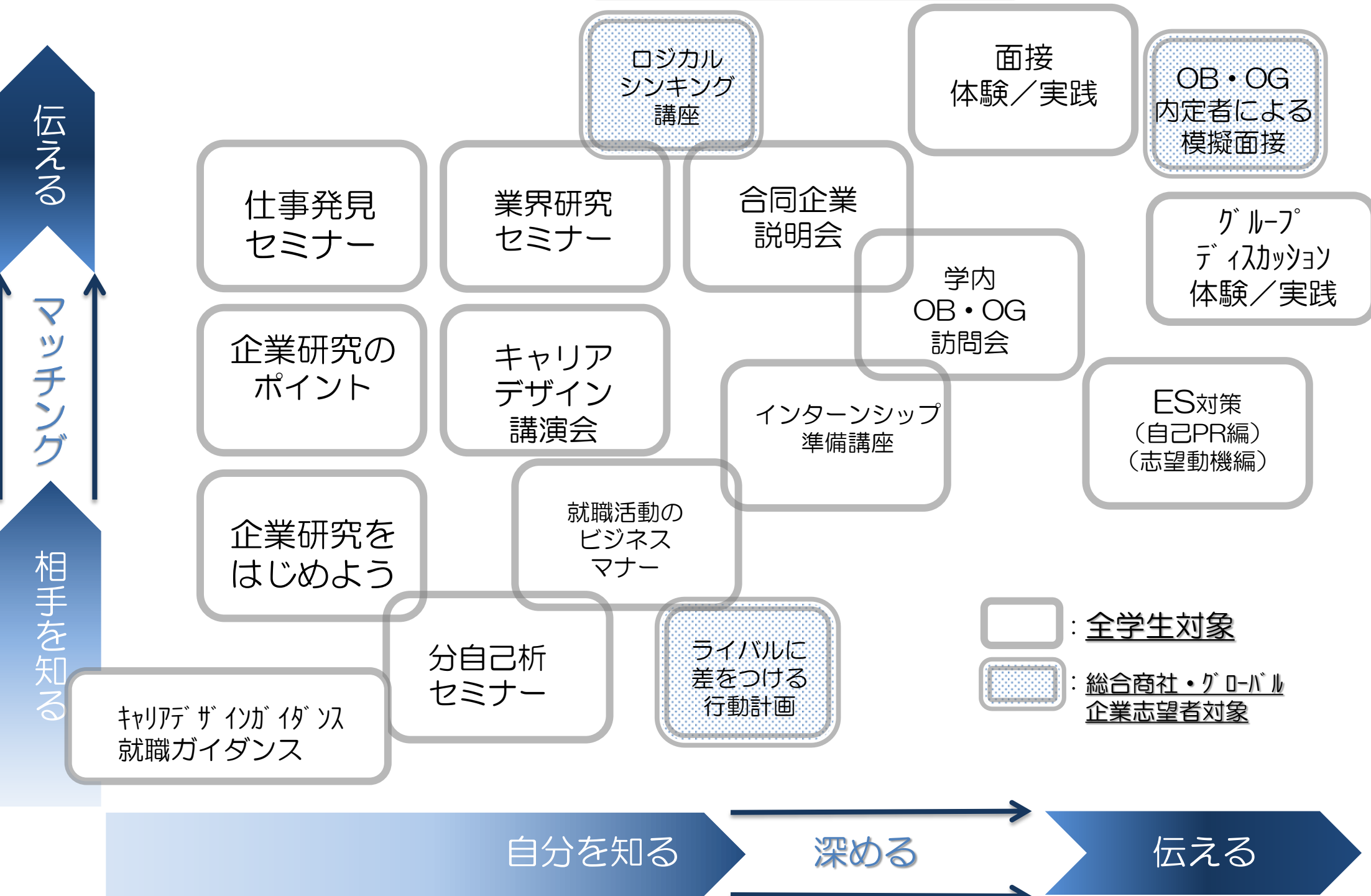
講座は約450回実施、延べ110000人以上参加

3 個人相談 ⇒ **学生一人ひとりに丁寧に対応**

相談件数は年間約10000件 全学年対象

2. 立教大学の支援の概要

就職支援プログラムマップ (2016年3月卒業予定者対象)



2. 立教大学の支援の概要

■ 重みを増す正課教育との連携

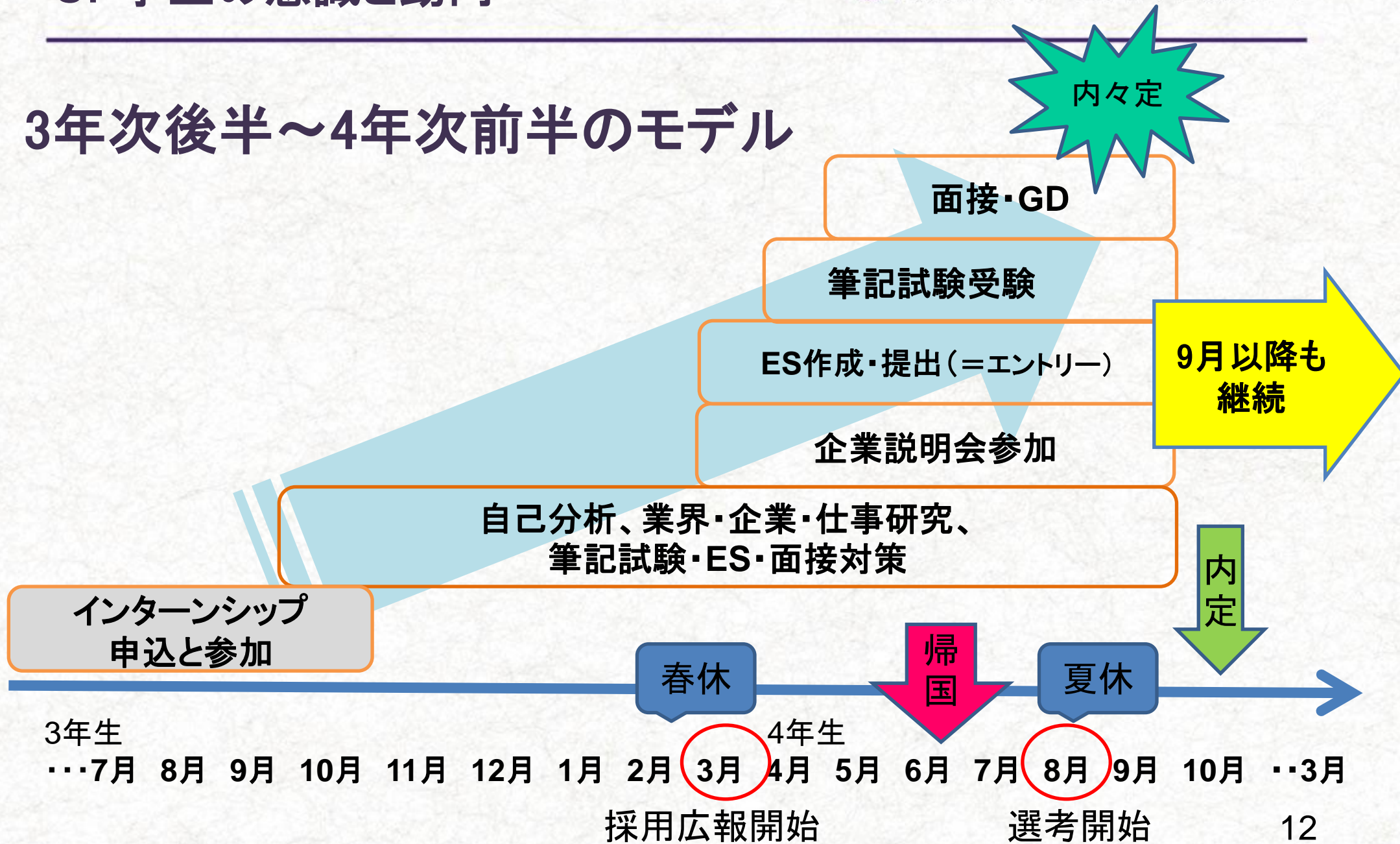
就職支援部局のみの支援の限界
学生は本来、勉学を通じ成長していく
特に導入期が大切

社会人基礎力の土台

大学生活にも**PDCAサイクル**が必要

3. 学生の意識と動向

3年次後半～4年次前半のモデル



■ 就職活動とは・・・

自らを振り返り、どんな「**考え方や能力・特性**」を持っているか、将来どのような「**生き方や働き方**」をしたいのかを考える。



それを「**自分の言葉**」で相手にわかりやすく伝えて、「**成長していく自分の姿**」を相手にイメージしてもらおう。

学生にとっての大きな成長機会

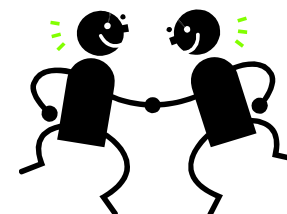
3. 学生の意識と動向

学生が大切だと思うこと

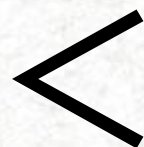
- ◆自己分析
(経験の棚卸しと意味づけ)
- ◆筆記試験、エントリーシート、
面接への対策
- ◆業界・企業・仕事研究

企業が学生に求めること

- ◆コミュニケーション能力
- ◆自ら考え行動できる力



対策



本質

4. 企業の動向

■2015採用の現状（6月現在）

各大学とも数値的には把握できていないものの・・・

採用環境の良化に連れ、就職結果もはっきり改善傾向

現在は夏採用、補充採用が進行中

■立教生 100名サンプル 6月調査結果

内定保持72% 前年度比 +4.6ポイント

内定なし 20%

4. 企業の動向

■2016採用に向けた動き

「後ろ倒し」は不正確 !!!

「時期変更」の本質 短期化 or 長期化？

採用担当者は一言で言えば、手探り状態？！

学生・大学との接触機会を求める傾向強まる

⇒大学訪問 学内説明会

※採用広報開始は大学も遵守すべき立場

4. 企業の動向

■スケジュールの変更

	2015年3月卒業予定者まで (学部4年生・院2年生)	2016年3月卒業予定者から (学部3年生・院1年生以下)
採用広報開始 (会社説明会)	学部3年、院1年の12月	学部3年、院1年の3月
選考開始 (筆記試験・面接)	学部4年、院2年の4月	学部4年、院2年の8月
正式な内定時期	学部4年、院2年の10月	学部4年、院2年の10月
企業への拘束力	経団連加盟企業に賛同を募り、 企業名を公表	経団連全加盟企業に 遵守を呼びかけ
インターンシップ	採用直結は禁止	採用直結は禁止

4. 企業の動向

■ インターンシップの変化

インターンシップの実態は・・・〇〇ナビを見てみると

採用と直結しない・させない・・・本当なのか？

企業にも負担が大きい

業態によっては就業体験型が困難な場合も

急増した「1日タイプ」から見えるもの

⇒ 学生に必要な「アウェー」の体験

5. 行政への期待と連携

■ 東京新卒応援ハローワークによる支援例

	23年度	24年度	25年度
大学訪問件数	1,231件	1,842人	<u>4,929人</u>
個別相談	2,095件	6,007人	<u>7,877人</u>
セミナー・ガイダンス	3,228件	10,616人	<u>7,403人</u>

常駐支援対象数

24年4月

大学10校

25年3月末現在

大学・短大50校、54キャンパス

(大学38校 42キャンパス、短大12校 12キャンパス)

26年3月末現在

大学・短大73校、82キャンパス

5. 行政への期待と連携

■新卒応援ハローワークと大学の連携

常駐(相談)支援

週1回以上の定期支援(常駐型支援)、

就職ガイダンス、支援セミナーなど

専門支援

障害をもつ学生及び一般的な就職活動が

困難な学生に対する職業相談、職業準備支援

時期変更 ⇒ 就職支援の複線化が不可欠!!!